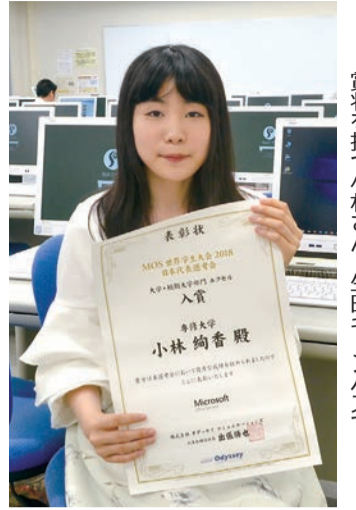


MOS世界学生大会日本代表選考

小林さん(文)入賞



賞状を持つ小林さん(文)生田キャンパス

文学部哲学科2年次の小林絢香さんが、パソコンソフトの利用技能を競う「MOS世界学生大会2018」の日本代表選考で入賞し、6月24日に都内で開かれた表彰式で賞状を授与された。

MOS(マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト)は、米国マイクロソフト社のアプリケーションソフトの操作技術者を認定する世界共通の資格。小林さんは昨年8月の試験でエントリー。満点の成績で2次選考に進み、小論文などで優秀と認められた。9部門に高校生から大学生まで全国から延べ6万人以上がエ

ントリして、入賞者は合わせて180人。表彰式で入賞の栄誉をたたえられ、改めてその重みを実感したという。高校時代はパソコン部で「情報処理技能検定表計算1級」全国大会にも出場した。「データを打ち込み、思い描いていた表が画面に表示された時の達成感が好き」と話す。昨年、学内の「MOS資格試験対策講座Excel2013(スペシャリストレベル)」を知り、「エクセルが得意だと自信を持って言える証にしたい」と挑戦を決意。

夏期休暇中に開かれた同講座は「技能検定とは問題の形式が違うのですごくためになった。テキストに載っていないこと

も教えてもらった」。スピードでも実力を証明し、キルに磨きをかけ、講座修了後に試験に臨んだ。その後ワード2013のスペシャリストレベルも、満点の成績で資格を取得した。世界学生大会にはエントリーしなかったため日本代表の選考対象にはならなかったが、あまり自信がなかったワ

次目標は在学中にエクセルの上級コースや未挑戦の科目に合格して「MOS2013マスター」になること。さらなるスキルアップを目指す。

11講座を開講 情報科学センターでは初心者向けの講習会からMOS資格試験対策講座まで今年度は11講座を実施している。

エクセル(スペシャリストレベル)のMOS資格試験対策講座は、今年度の合格率は92.4%だった。

興味のある学生は生田キャンパスで夏期休暇中の9月10日14日(12日を除く)に開講する。申し込みは先着順で、締め切りは7月18日(水)。

BOSAフェア開催

学生らの防災意識を高めようと、参加型イベント「BOSAフェア」が6月29日、生田キャンパスで開催された。消防署、千代田区、神田警察署などの協力で、学生はじめ教職員や近隣住

民らが参加した。消火器やAEDの使い方を実践。煙が充満した状態を体験し、地震体験車では震度7の揺れを実感した。また学生団体の専修神田ボランティア(SKV)は非常時に使う皿の作り方を参加者にレクチャー。炊き出しでは豚汁を振る舞った。

「AEDなどの使い方方を確認できたので、実際に災害や事故が起きたらどうするか日ごろから考えるようにして、いざというときに役立てたい」と話していた。



毛布で作る簡易担架の使い方を実演

互いの価値観尊重し デートDVなくそう



予防啓発ワークショップ

恋人間の暴力「デートDV」について知り、被害を減らそうと、予防啓発ワークショップが7月3日、生田キャンパスであった。川崎市と本学キャンパス・ハラスメント対策室(上田和勇室長)の共催で昨年に続き2回目。人間科学

部村松助教の「犯罪心理学A」の授業時間に行われ、学生約80人が参加した。女性の権利擁護活動などを行うNPO法人かながわ女のスペースみずら(横浜市)理事の小山内園子さんが講師を務めた。

デートDVとは「恋愛関係の中で、相手を思い通りに支配しようとすること」として、性別に関係なく被害が起これると説明。身体的な攻撃以外に、暴言や監視といった精神的な暴力、頻繁な電話やメールなどの社会的暴力、借金などの経済的暴力などを含む。ワークショップでは、「友情」「健康」などその人にとっての価値観を

表す10項目で、自分が大切だと思う順に番号をつけた。順番がまったく同じ人はおらず、小山内さんは「大切なものは人それぞれ」と呼びかけた。そして、「もし被害にあった場合は、自分さえ我慢すればいいと思わずに、信頼できる友達や専門機関を頼ってほしい」と語った。

齋藤裕希子さん(人間科学2)は「束縛もデートDVだと知り、暴力の範囲は広いのだと再認識した。ワークショップでは、いろいろな考えに触れることができ、勉強になった」と話した。

「AEDなどの使い方方を確認できたので、実際に災害や事故が起きたらどうするか日ごろから考えるようにして、いざというときに役立てたい」と話していた。

BOSAフェアにあわせて、6月25日29日、神田・生田両キャンパスで初期安全行動訓練や安否確認システムの運用訓練を実施した。また、図書館神田分館では7月14日まで、防災についての知識を深め、災害に備えることができるような図書をまとめて紹介する企画展示「未来を生き抜くチカラ防災!」神田分館編」を開催した。



の成果を発表する「第52回黒門祭」が6月29日から7月1日まで、生田キャンパスで開かれた。今年度は24団体が演奏会や作

24団体成果発表 第52回黒門祭

の成果を発表する「第52回黒門祭」が6月29日から7月1日まで、生田キャンパスで開かれた。今年度は24団体が演奏会や作

品展示などを行った。9号館のアトリウムでは三曲研究会が「黒門祭演奏会」を開いた。10



「恋する権利」カトリック・ドヌーブ「口説く権利」(?)の前に

声をかける勇気もないままに彼女のあとを追って吉祥寺の街を歩いたことある。こんな思い出話を書きながらも、

対策室員・家永 登

美術研究会の作品を鑑賞する学生

各教室では美術研究会、漫画研究会、カメラクラブなどが作品展示。落語研究会の「黒門寄席」、中南米研究会が楽器を演奏する「ラテン喫茶HERMAN」などもあり、来場者を楽しませた。